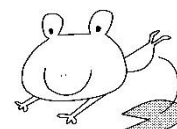


教育支援センターから 保護者のみなさまへ

学校・園での生活が始まるにあたって



学校・園が再開されます。子どもにとって大切な学び・生活の場ですが、「子どもを行かせて大丈夫なの?」「何をどこまで気をつければいいのか?」など、保護者のみなさまにとっては、気がかりなことも多いのではないのでしょうか。また、これからの生活を考えていく上では、“以前の生活に少しずつ戻していくこと”と“新しい生活スタイルを取り入れていくこと”を模索していく時期にもなります。今回は、学校・園での生活が始まるにあたって心がけたいポイントを3つ、ご紹介します。

① 子どもの安心感を維持する関わりを心がける

- ・学校・園が再開する前に、家族みんなで「どんなことに気をつければいいのか?」などを話し合ってみましょう。その時に改めて「手洗いをきちんとする」「咳エチケットに気をつける」といったルールを確認しておくといいですね。
- ・学校・園では、「窓を開ける」などの配慮だけでなく、「集団での遊びや友だちとのおしゃべりを制限する」といった、子どもに我慢をしてもらう配慮も行われます。以前とは違う環境に、子どもは戸惑いを感じたり不安げな様子を見せることがあるかもしれません。そのため、「今週どうだったか?」などを、家族みんなで話す時間を作ってみましょう。
- ・“学校・園に行く日”の生活リズムを維持するよう心がけましょう。“朝起きてから出かけるまでのリズム”や“帰宅してから寝るまでのリズム”などは比較的取り入れやすいでしょう。

② 子どもに合った新しいやり方があれば取り入れる

- ・今回の休みの間に、「この子には、こっちのやり方が合ってるかも」といった気づきはありませんでしたか?うまくいったこと(やり方)は、学校・園が再開した後も継続してみると良いでしょう。

例えば…

漢字の学習に ICT 教材を取り入れてみる/塾の授業をオンラインで受ける/
家で出来る運動を動画等でチェックする、など



③ 偏見や差別をうみ出さない・振り回されない

- ・新型コロナウイルス感染症は、未知の部分が多いため、私たちは不安や恐れを抱きやすくなります。未知のものに対する不安は、「〇〇くんは咳してるからコロナかも」とか「◇◇に行くとコロナがうつるから行かないようにしよう」といった、特定の人や場所に対しての根拠のない偏見や差別をうんでしまいがちです。子どもたちが偏見や差別をうみ出さない・振り回されないようにするためには、保護者のみなさまが確かな情報をつかみ子どもに伝えていくこと、差別的な言動には同調しないことが大切です。

上記に示したものは一例になります。お子さまの様子で気掛かりなことなどがありましたら、お電話にてご相談を承っております。